

訃報 森本利根氏（1923年群馬県—2021年埼玉県）

以下は森本あんりさんから頂戴したお葉書の文面です。

年 月 日 時 分

森本利根は 〇〇〇〇 のため 〇〇〇〇 で死去いたしました。

これは本人がたった一度だけのドラマ人生の幕が降りるときにと、いつか必ず来るその日のために、秘に用意していたもので、生前の利根が自筆であなたに贈る最後のメッセージです。長年のご交誼をありがとうございました。

・・・ という死亡通知を用意していた父は、結局その自筆メッセージを一枚も書くことなく、本年5月18日に永眠いたしました。97歳で老衰でした。「宛名もオレが書いておくから、あとは切手を貼って投函するだけだ」と、さも得意そうだったのですけれど。

父は、しばらく前から近くの老人保健施設に入居しておりました。この施設も自分で見つけてきて、認知症の進んだ母武子を先に入居させてありましたが、いざ自分の番になると、混乱や抵抗が昂じて周囲を困らせました。夜中の電話などでご迷惑をおかけした方々には、お詫び申し上げます。

それでも、最後は嘘のように穏やかな日々でした。コロナ下でしばらく面会が禁止されておりましたが、2週間前に会った際にはまだ冗談を言うほど元気でした。前日には自分で入浴を希望し、事情をよく理解できない母にも看取られつつ、平安に逝きました。

没後はすぐに大学病院へ献体するように、これもきちんと手続きを済ませてありましたが、連絡をすると、あいにくコロナ下で一切の献体を受け付けていないとのこと。つくづく計画通りにゆかないものです。

せめて葬儀と埋葬については、本人の強い希望を叶えようと、すでに荼毘に付し、海への散骨を手配したところです。みなさま方には、このような事後報告となりましたことをご容赦ください。生前のご厚誼に深く感謝を申し上げます。

2021年5月25日 森本あんり